

恐竜最新研究in2024



カムイサウルス・ジャポニクス(通称むかわ竜)全身骨格 穂別町民センター 2018年11月撮影:山田大隆

2024

12.7 (土) 14:00~16:00 (13:30開場)

お話 **小林 快次 氏**

北海道大学総合博物館教授(恐竜学)・副館長

要事前申込 定員120名(先着)

会場 札幌市中央図書館 3階講堂

対象 中学生以上の方

参加無料

申込方法

申込受付期間 11月13日(水)8時00分~11月28日(木)

【WEB 受付フォーム】

札幌市 お申し込み



<https://www.callcenter.city.sapporo.jp/sapporo/cc/web/formList.html>

上記 URL または左の二次元コードからアクセスし、必要事項を入力のうえお申し込み下さい。

必要事項:①代表者氏名(漢字+かな) ②年齢(参加者全員) ③参加人数(グループの場合は2名まで)

④代表者の電話番号

【札幌市コールセンター】※電話は混雑する場合があります。極力 Web をご利用ください。

TEL : 011-222-4894 (年中無休・8時~21時受付)

※個人情報は連絡に使用場合があります。目的外の使用は行わず適切に管理し、保有する必要がなくなれば速やかに廃棄します。

恐竜最新研究in2024

近年、恐竜学は急速に進歩しています。恐竜は約 1.5 億年前の中生代に大型化し、6500 万年前の巨大隕石の衝突によって絶滅しましたが、一部は鳥類へと進化し、現在に至っています。今回は、この「鳥類化」研究と、むかわ町穂別で発見された「カムイサウルス・ジャポニクス（通称むかわ竜）」、および海外の発掘調査の内容について、研究の最先端を紹介します。

講師紹介 こばやし よしつぐ 小林 快次 氏

1971年福井県生まれ。恐竜研究の本場である米国ワイオミング大学およびサザンメソジスト大学で、日本人初の恐竜学博士号を取得。福井県立恐竜博物館の設計にも携わる。2005年に北海道大学総合博物館の助手となり、その後准教授、2019年に教授、副博物館長に就任。また、大阪大学総合学術博物館の招聘教授も務める。「ファルコンアイ」と称される発掘力で知られ、むかわ町穂別での日本初の「カムイサウルス・ジャポニクス（通称むかわ竜）」全身骨格発掘で注目を集めた。海外でも精力的に発掘活動を行い、多くの成果を挙げている。NHK の恐竜番組の監修も担当。著書には、『恐竜時代 I 起源から巨大化へ』（2002）、『ワニと恐竜の共存』（2013）、『ティラノサウルス解体新書』（2023）、『モンゴル大恐竜とゴビ砂漠の大型恐竜と鳥類の進化』（共著、2006）ほか多数がある。

「サイエンス・フォーラム in さっぽろ」とは？

その道を極めた科学者などが「ホットな科学の話題をやさしく・深く・おもしろく」をモットーに語ります。

休日の昼下がりを ちょっと有意義に過ごしてみませんか？

●不定期ですので、今後の日程は下記をご覧ください。

○冊子「イベント情報はこちらでチェック 札幌市からのお知らせ」に掲載。

市内郵便局、各区役所広聴係などで配布されています。

○地デジテレビのデータ放送による市政情報の発信（UHB8チャンネル）で配信します。

インターネットでは下記をご覧ください。

○札幌市中央図書館のホームページ「行事・展示のお知らせ」

○札幌市博物館活動センターのホームページ「イベント情報」



中央図書館



博物館活動センター

会場案内

札幌市中央図書館

中央区南22条西13丁目1-1 電話011-512-7320

●公共交通機関でお越しください

市電「中央図書館前」下車すぐ
じょうてつバス「南21条西11丁目」から徒歩7分



【主催】サイエンスフォーラム事務局 【共催】札幌市中央図書館、札幌市博物館活動センター